

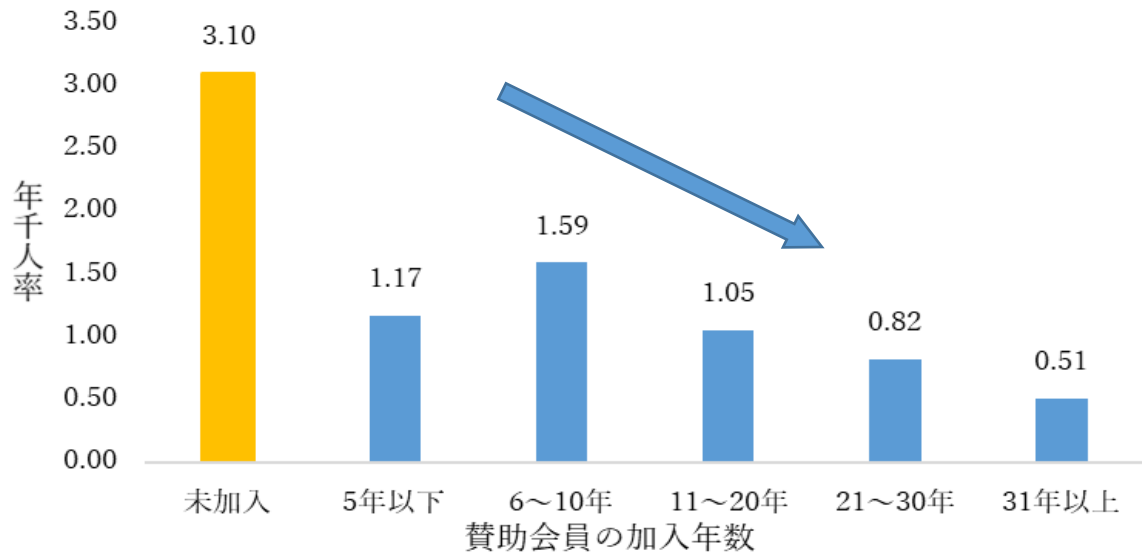
中災防の賛助会員となる効果について

賛助会員事業場を対象に、令和3年11月24日～12月28日の期間に実施した「中災防の事業運営に関するアンケート調査」をもとに作成しました。

1. 労働災害発生への効果

～賛助会員の加入年数が長くなるほど、労働災害の発生率が減少～

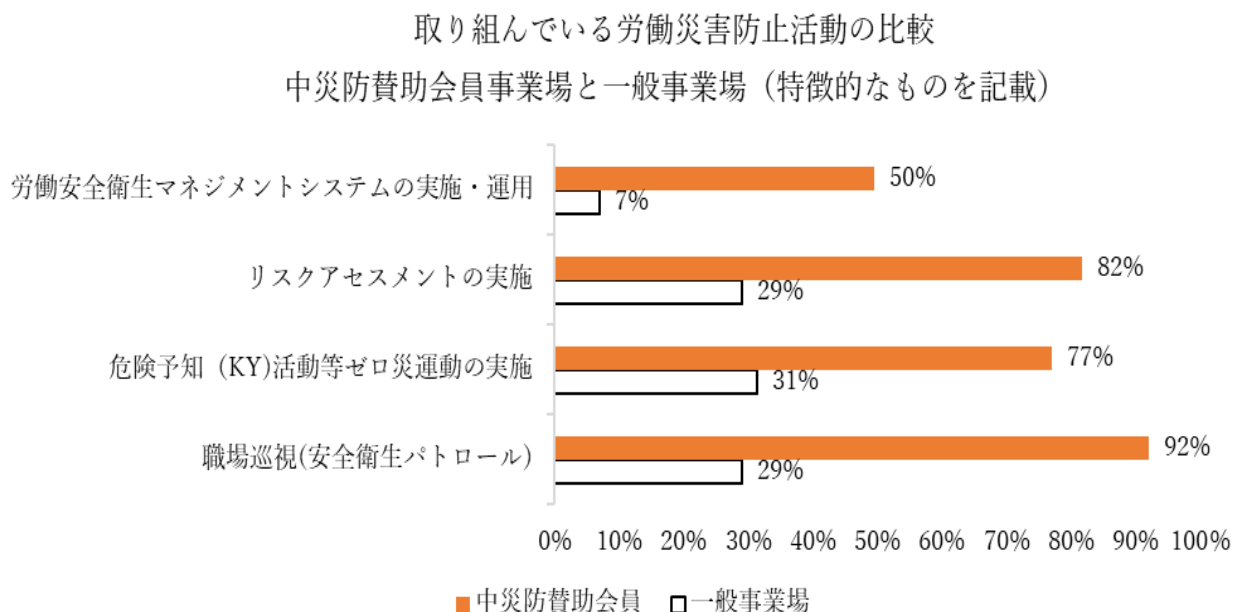
事業場の賛助会員歴を常用労働者の年千人率（1年間の労働者千人あたりに発生した死傷者数の割合を示すもの。1年間の労働災害発生人数÷当該年の労働者数×1,000で算出）で見ると、次図のとおり、賛助会員の加入年数が長くなるほど、労働災害が減少する傾向が見られました。



2. 賛助会員事業場と一般事業場の労働災害防止活動への違い

～MSの実施・運用、RA実施、KY活動実施、職場巡視などが活発化～

中災防賛助会員事業場を対象とする本アンケート調査結果と、一般の事業場を対象とする厚生労働省の各種調査結果とで比較すると、次図のとおり、「労働安全衛生マネジメントシステムの実施・運用」、「危険予知（KY）活動等ゼロ災運動の実施」等で、中災防賛助会員事業場の取組が一般事業場を大きく上回っていました。



3. 中災防事業の労働災害防止活動への効果

～トップ・管理者の安全衛生意識が向上、従業員に安全衛生意識が浸透～

中災防の研修・セミナーや技術サービス等の利用により、事業場が取り組んでいる労働災害防止活動にどのような効果があったか複数回答で聞いたところ、次のとおりでした。

労働災害防止活動の効果に寄与した中災防事業（各活動につき上位3位まで）

効果項目	寄与した中災防事業	比率※
従業員に安全衛生意識が浸透した	図書・用品の購入や定期刊行物等の購読	44.7%
	危険予知（KY）活動等ゼロ災運動関連研修	43.0%
	中災防が発信する安全衛生情報の利用	37.6%
職場の安全衛生活動が活性化した	危険予知（KY）活動等ゼロ災運動関連研修	44.0%
	リスクアセスメント/マネジメントシステム関連研修	40.9%
	中災防が発信する安全衛生情報の利用	40.1%
職場の安全衛生水準の向上や快適化が図られた	安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）認証事業	35.1%
	リスクアセスメント/マネジメントシステム関連研修	32.5%
	事業場の安全衛生状態の診断（安全衛生診断）	31.1%
トップ、管理者の安全衛生意識が浸透した	安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）認証事業	34.6%
	職長教育、安全衛生管理者千人時研修等各種安全衛生教育	33.2%
	全国産業安全衛生大会への参加	26.4%
メンタルヘルス不調者（長期休職者）が減少した	ストレスチェック等（ヘルスアドバイスサービス）	26.9%
	健康づくり/メンタルヘルス	17.2%
	事業場での教育・技術支援等のサービス（メンタルヘルス/健康づくり関連事業）	16.0%

※「比率」は、各効果項目に対して回答があった事業場数の割合。

**中災防は、
事業場の安全衛生活動をサポートします！**

事業場をサポートする3本柱

ISO45001、作業環境測定、化学物質管理、ゼロ災運動ストレスチェックなど安全衛生に関する技術的サポートを実施します。

技術サービス

経営トップ、安全・衛生管理者、職長、作業者等を対象に、テーマや階層別に多様な安全衛生教育研修を実施します。

研修・セミナー

全国産業安全衛生大会の開催、ホームページ、安全衛生図書・用品、などを通じて最新の安全衛生情報を提供します。

情報発信